

2025年3月期 連結決算概要
2026年3月期 連結業績予想

説明資料

2025年5月12日(月)

2025年3月期 連結決算概要

連結対象会社

項目	2024年3月期末 (A)	2025年3月期末 (B)	増減 (B) - (A)	摘 要
連結 子会社数	36社	34社	△2社	+ MANUFACTURAS PAULOWSKY, S.L. - 宇部愛科喜模高新材料(無錫) - 株式会社宇部スチール - 株式会社エーピーアイコーポレーション
持分法 適用会社数	16社	17社	1社	+ Sampo GmbH + UBSホールディングス株式会社 - 株式会社ユービーイーホテルズ
計	52社	51社	△1社	

環境要因

項目			2024年3月期 (A)	2025年3月期 (B)	差異 (B) - (A)	
為替レート		円/\$	144.6	152.6	8.0	
資材価格	ナフサ	CIF	\$/t	672	695	23
		国産	円/KL	69,200	75,700	6,500
	豪州炭 (CIF)		\$/t	194.8	157.8	△ 37.0
			円/t	28,165	24,069	△ 4,096

主要項目

(単位:億円)

項目	2024年3月期 (A)	2025年3月期 (B)	差異 (B) - (A)	増減率
売上高	4,682	4,868	186	4.0%
営業利益	225	180	△ 44	△ 19.6%
経常利益	363	224	△ 140	△ 38.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	290	△ 48	△ 338	—

セグメント別 売上高/営業利益

(単位:億円)

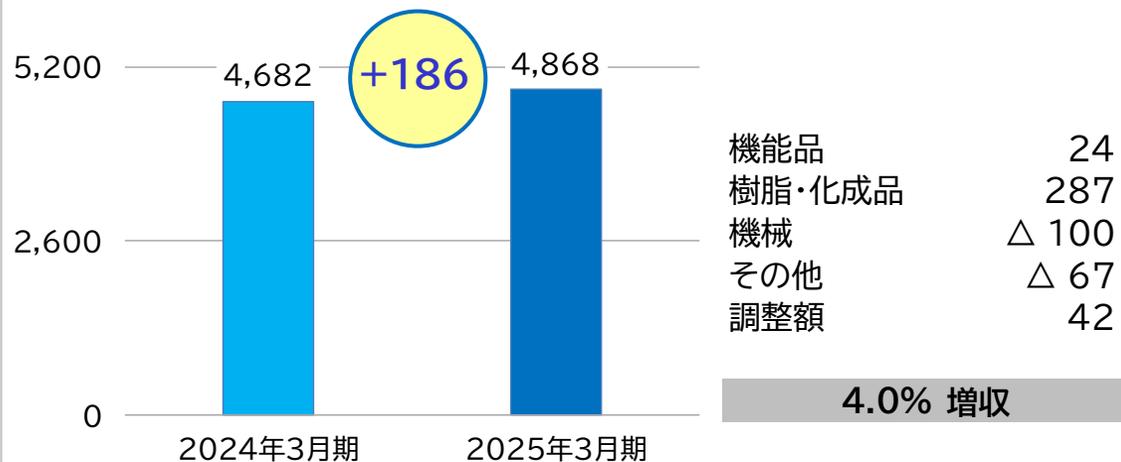
	セグメント	2024年3月期	2025年3月期	差異	増減率
		(A)	(B)	(B) - (A)	
売上高	機能品	638	662	24	3.8%
	樹脂・化成品	2,586	2,872	287	11.1%
	機械	969	869	△ 100	△ 10.3%
	その他	745	678	△ 67	△ 9.0%
	調整額	△ 254	△ 212	42	—
	計	4,682	4,868	186	4.0%
営業利益	機能品	121	117	△ 4	△ 3.6%
	樹脂・化成品	25	19	△ 6	△ 24.5%
	機械	72	79	7	10.0%
	その他	45	32	△ 13	△ 28.1%
	調整額	△ 38	△ 66	△ 28	—
	計	225	180	△ 44	△ 19.6%

(注) 2025年3月期より、UBE America Inc.及びUBE CORPORATION AMERICA INC.を「その他」から「樹脂・化成品」へセグメント変更しています。
2024年3月期の売上高及び営業利益は、変更後の区分方法により作成したものです。

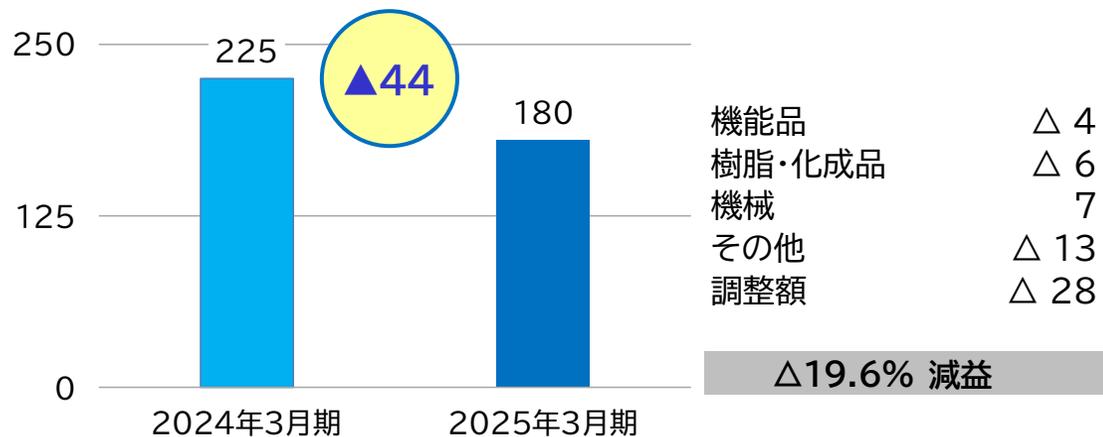
差異分析 全社

(単位:億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高:増収

- 樹脂・化成品 :海外においてナイロンポリマー・カプロラクタムや硫安等の販売が回復
:原料価格の上昇によりエラストマーの販売価格が上昇

営業利益:減益

- 樹脂・化成品 :アンモニア工場で隔年の定期修理を実施
- 調整額 :ドイツLANXESS社からのウレタンシステムズ事業取得に係る費用が発生

営業利益差異

価格差 ※1 51

数量差 2

固定費ほか ※2 △ 97

計 △ 44

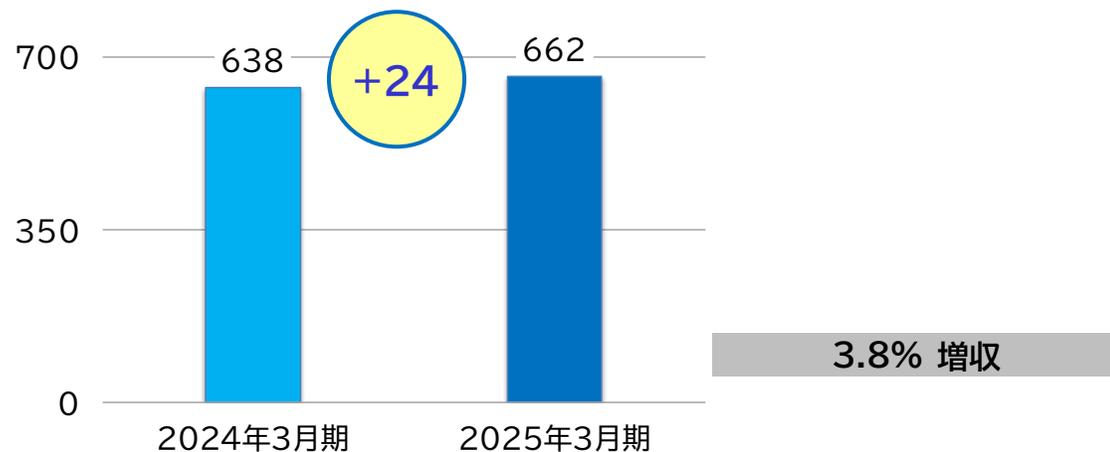
※1:資材単価差含む

※2:在庫評価差、低価法影響含む

差異分析 機能品

(単位:億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高: 増収

- セラミックス : 電動車向け軸受用途等の販売が堅調に推移
- セパレータ : ハイブリッド自動車向けで販売数量が増加

営業利益: 減益

- ポリイミドワニス、分離膜の販売が低調に推移

営業利益差異

価格差 ※1	7
数量差	8
固定費ほか ※2	$\Delta 20$
計	$\Delta 4$

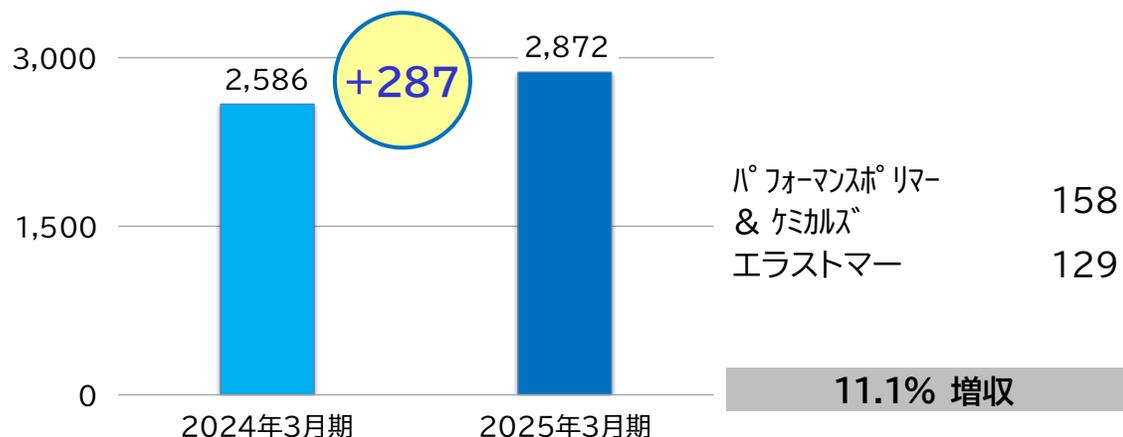
※1: 資材単価差含む

※2: 在庫評価差、低価法影響含む

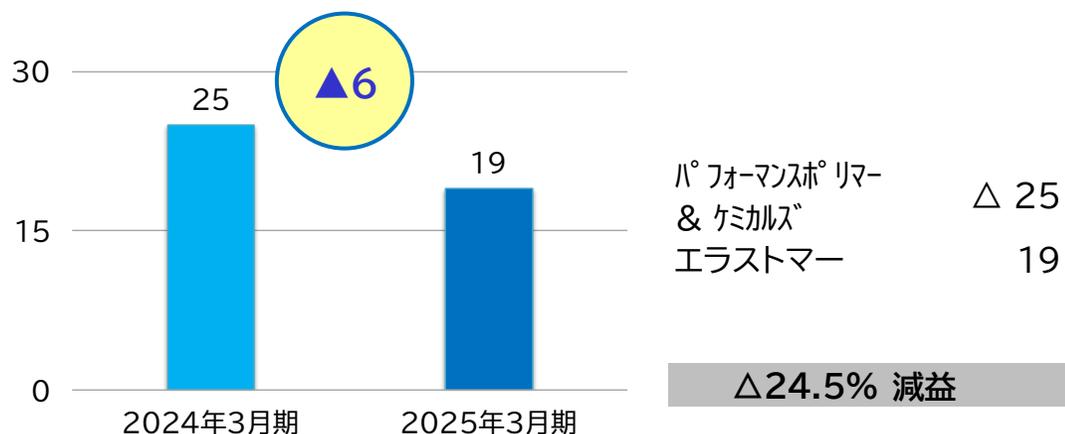
差異分析 樹脂・化成品

(単位:億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高:増収

- ・ ナイロンポリマー :海外での食品包装フィルム用途等の需要回復に伴う販売数量増加及び販売価格上昇
- ・ ラクタム・硫安 :海外で販売数量が増加
- ・ エラストマー :原料価格の上昇により販売価格が上昇

営業利益:減益

- ・ コンポジットの低調な販売及びアンモニア工場で隔年の定期修理を実施

営業利益差異

価格差 ※1 23

数量差 △1

固定費ほか ※2 △28

計 △6

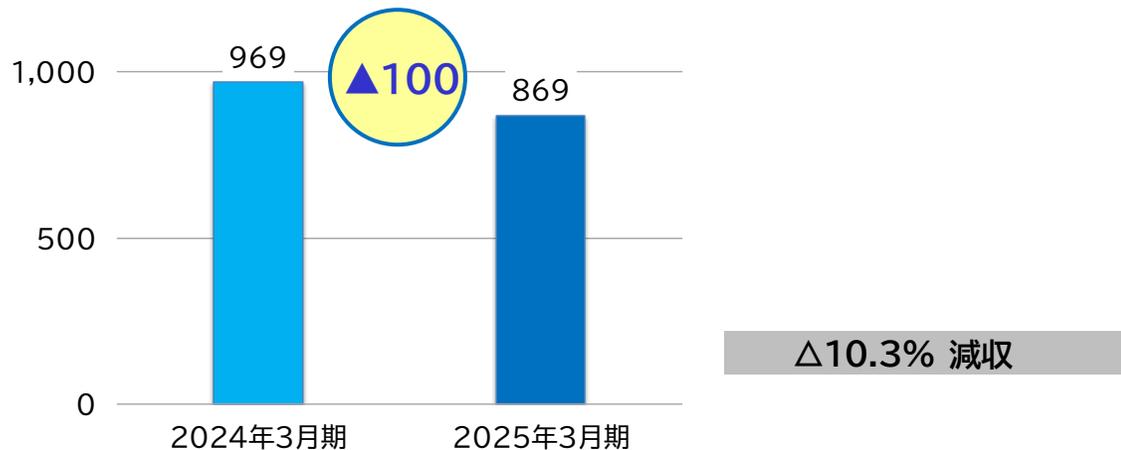
※1:資材単価差含む

※2:在庫評価差、低価法影響含む

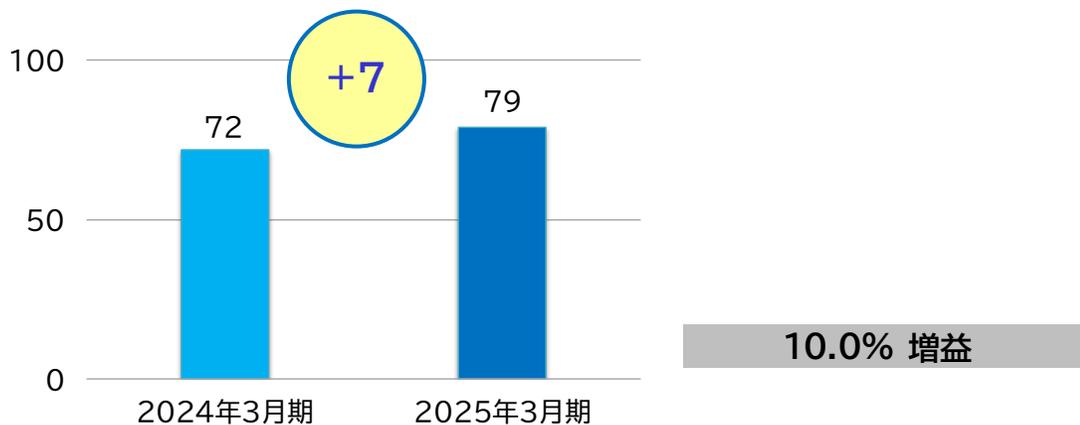
差異分析 機械

(単位:億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高:減収

- 製鋼 :2024年11月に製鋼事業の経営権を譲渡

営業利益:増益

- 成形機事業が堅調に推移

営業利益差異

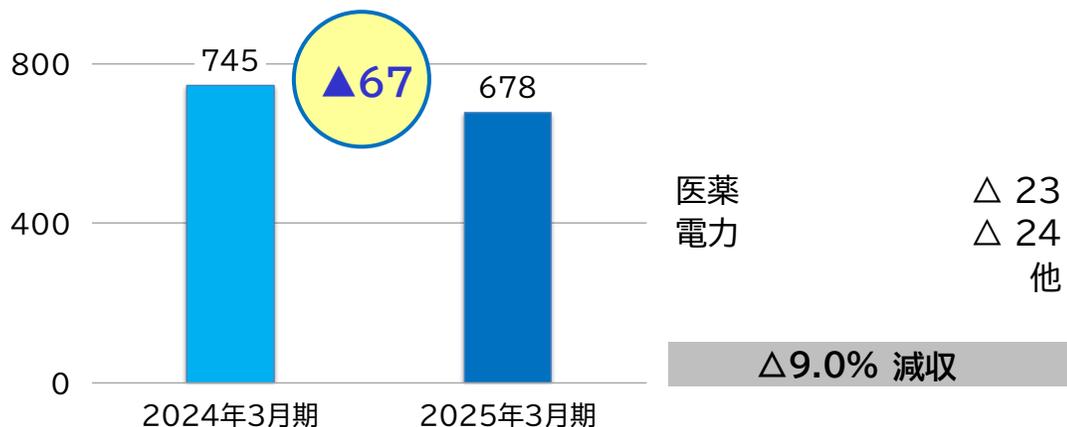
機械部門限界利益 1

(機械製品は個別受注生産品のため、価格差・数量差の差異分析を行っていない)

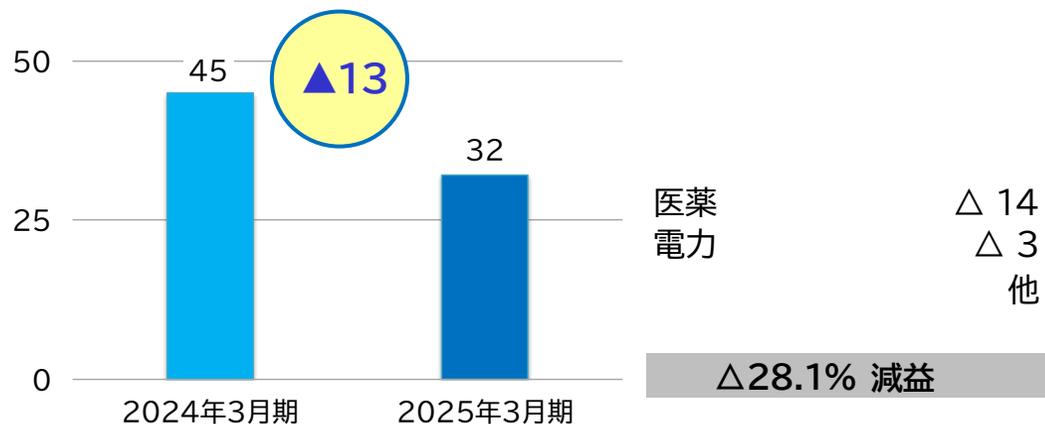
差異分析 その他

(単位:億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高:減収

- ・ 医薬 : 受託医薬品の販売が減少
- ・ 電力 : セメント工場等の電力需要の減少により売電量が減少

営業利益:減益

- ・ 医薬事業におけるロイヤリティ収入及び受託医薬品の販売が減少

営業利益差異

価格差 ※1	21
数量差	0
固定費ほか ※2	△ 34
計	△ 13

※1: 資材単価差含む

※2: 在庫評価差、低価法影響含む

営業利益～当期純利益

(単位:億円)

項目	2024年3月期 (A)	2025年3月期 (B)	差異 (B) - (A)
営業利益	225	180	△ 44
営業外損益	139	43	△ 96
金融収支	29	△ 5	△ 34
持分法による投資損益	123	76	△ 47
うちUBE三菱セメントグループに係る持分法投資損益	130	156	26
その他(LUSRに係る持分法投資損益*を含む)	△ 7	△ 79	△ 73
為替差損益	15	△ 2	△ 17
その他	△ 29	△ 27	3
経常利益	363	224	△ 140
特別損益	△ 13	△ 333	△ 320
税金等調整前当期純利益	351	△ 109	△ 460
法人税等・非支配株主利益	△ 61	61	122
親会社株主に帰属する当期純利益	290	△ 48	△ 338
1株当たり当期純利益	298.59円	△ 49.60円	△ 348.19円

* LOTTE UBE SYNTHETIC RUBBER SDN. BHD.の解散に伴う持分法投資損失

貸借対照表

(単位:億円)

項目		2024年3月期末 (A)	2025年3月期末 (B)	差異 (B) - (A)
資産	流動資産	2,957	3,584	627
	固定資産	4,932	5,071	139
	合計	7,890	8,657	766
負債	有利子負債	2,134	3,305	1,171
	その他負債	1,462	1,231	△ 231
	計	3,597	4,537	940
純資産	自己資本*	4,087	3,951	△ 136
	非支配株主持分他	207	169	△ 37
	計	4,294	4,120	△ 173
負債・純資産合計		7,890	8,657	766

*「自己資本」…純資産から新株予約権と非支配株主持分を除外したもの

キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

項目	2024年3月期	2025年3月期	
A.営業活動によるCF	530	358	税金等調整前当期純損失 △109 減価償却費 272 減損損失 291 持分法による投資損益 △76 他
B.投資活動によるCF	△ 333	△ 632	有形・無形固定資産の取得 △589 他
フリー・キャッシュ・フロー (A+B)	196	△ 273	
C.財務活動によるCF	△ 157	1,059	有利子負債の増減 1,172 配当金の支払 △114 他
D.現金及び現金同等物の増減 (含、換算差額等)	52	796	
E.現金及び現金同等物の当期末残高	359	1,154	

2026年3月期 連結業績予想

連結対象会社

項目	2025年3月期末 (A)	2026年3月期末 (B)	増減 (B) - (A)	摘 要
連結 子会社数	34社	45社	11社*	(ドイツLANXESS社からのウレタンシステムズ事業取得) + Elfte LXS GmbH + LANXESS Solutions Australia Pty. Ltd. + Sistemas de Uretanos do Brasil Ltda. + Urethane Systems Canada Ltd. + Chemtura China Holding Co., Ltd. + LANXESS Advanced Materials (Nantong) Co., Ltd. + LANXESS SOLUTIONS INDIA PRIVATE LIMITED + LANXESS Solutions Italy S.r.l. + LANXESS Sales Netherlands B.V. + LANXESS Urethanes UK LTD + Urethane Systems USA LLC
持分法 適用会社数	17社	17社	0社	
計	51社	62社	11社	

・ LANXESS社より取得した事業について、現時点では買収する全11社を連結子会社としていますが、重要性等により非連結とする会社の一部発生することがあります。

環境要因

項目			2025年3月期 (A)	2026年3月期 (B)	差異 (B) - (A)	
為替レート		円/\$	152.6	150.0	△ 2.6	
資材価格	ナフサ	CIF	\$/t	695	680	△ 15
		国産	円/KL	75,700	72,900	△ 2,800
	豪州炭 (CIF)		\$/t	157.8	136.0	△ 21.8
			円/t	24,069	20,400	△ 3,669

主要項目

(単位:億円)

項目	2025年3月期 (A)	2026年3月期 (B)	差異 (B) - (A)	増減率
売上高	4,868	4,900	32	0.7%
EBITDA	455	550	95	21.0%
営業利益	180	250	70	38.5%
経常利益	224	375	151	67.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 48	275	323	—

項目	2025年3月期末 (A)	2026年3月期末 (B)	差異 (B) - (A)
総資産	8,657	9,500	843
有利子負債	3,305	3,800	495
自己資本 ^{*1}	3,951	4,100	149
年間配当金(円/株)	*2 110.00	*3 110.00	—

*1: 「自己資本」…純資産から新株予約権と非支配株主持分を除外したもの

*2: 110.00円(中間配当金55.00円、期末配当金55.00円)

*3: 110.00円(中間配当金55.00円、期末配当金55.00円)

セグメント変更

旧セグメント	事業
機能品	ポリイミド 分離膜 セラミックス セパレータ フェノール樹脂 半導体ガス
樹脂・化成品	コンポジット ナイロンポリマー カプロラクタム・硫安 工業薬品 C1ケミカル 高機能コーティング エラストマー
機械	
その他	医薬 電力 販社等

新セグメント	事業
機能品	ポリイミド 分離膜 セラミックス セパレータ フェノール樹脂 半導体ガス
高機能ウレタン (新規)	ウレタンシステムズ(新規) 高機能コーティング(異動)
医薬 (独立)	
樹脂・化成品	コンポジット ナイロンポリマー カプロラクタム・硫安 工業薬品 C1ケミカル エラストマー
機械	
その他	電力 販社等

セグメント別 売上高/営業利益

(単位:億円)

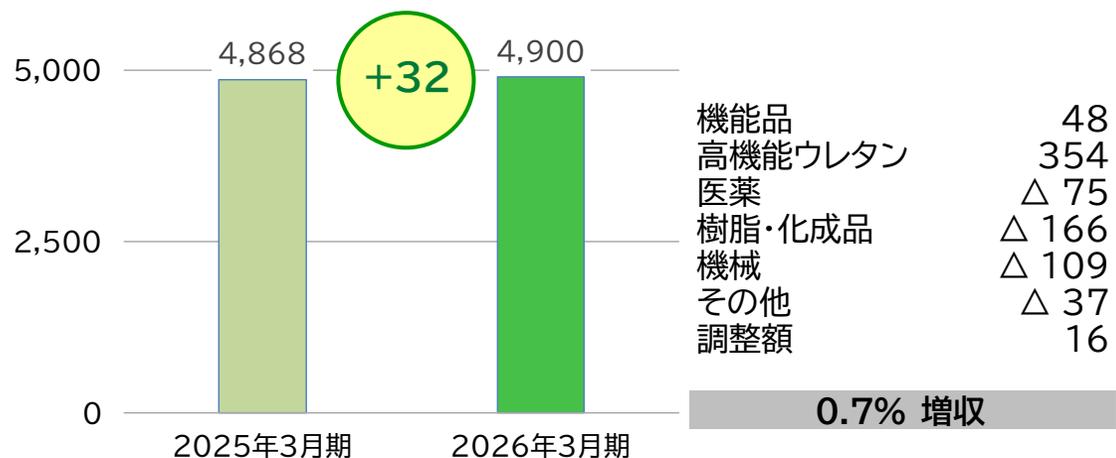
	セグメント	2025年3月期	2026年3月期	差異	増減率
		(A)	(B)	(B) - (A)	
売上高	機能品	662	710	48	7.3%
	高機能ウレタン	156	510	354	226.6%
	医薬	315	240	△ 75	△ 23.8%
	樹脂・化成品	2,736	2,570	△ 166	△ 6.1%
	機械	869	760	△ 109	△ 12.5%
	その他	392	355	△ 37	△ 9.4%
	調整額	△ 261	△ 245	16	—
	計	4,868	4,900	32	0.7%
営業利益	機能品	117	135	18	15.7%
	高機能ウレタン	△ 2	20	22	—
	医薬	12	10	△ 2	△ 13.1%
	樹脂・化成品	△ 7	60	67	—
	機械	79	65	△ 14	△ 17.5%
	その他	21	20	△ 1	△ 2.8%
	調整額	△ 38	△ 60	△ 22	—
	計	180	250	70	38.5%

(注) 2026年3月期より、「機能品」「樹脂・化成品」「機械」「その他」の4区分から「機能品」「高機能ウレタン」「医薬」「樹脂・化成品」「機械」「その他」の6区分としています。また、UBE CORPORATION EUROPE S.A.U. の高機能コーティング事業を「樹脂・化成品」から「高機能ウレタン」へ、UBE Fine Chemicals (Asia) Co.,Ltd.を「樹脂・化成品」から「高機能ウレタン」へ、UBE CORPORATION AMERICA INC.の高機能コーティング事業を「樹脂・化成品」から「高機能ウレタン」へセグメント変更しています。2025年3月期実績は、新しいセグメント区分に組み替えた場合の参考値です。

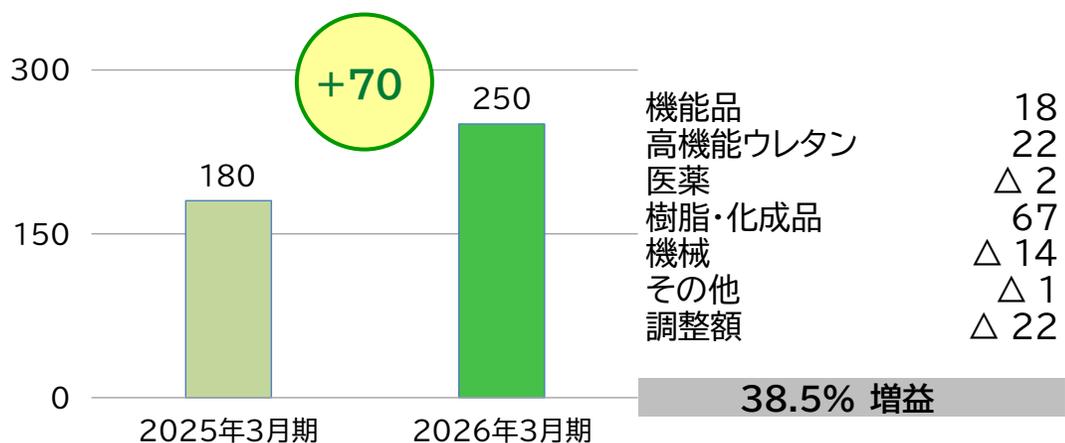
差異分析 全社

(単位:億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高:増収

- 機能品 :ポリイミド、分離膜、セパレータ等の販売が増加
- 高機能ウレタン :2025年4月にウレタンシステムズ事業を取得*

営業利益:増益

- 高機能ウレタン :2025年4月にウレタンシステムズ事業を取得*
- 樹脂・化成品 :販売が回復

*ウレタンシステムズ事業は12月決算のため、26年3月期は9ヶ月分の売上高・営業利益となる

営業利益差異

価格差 ※1	12
数量差	81
固定費ほか ※2 △	24
計	70

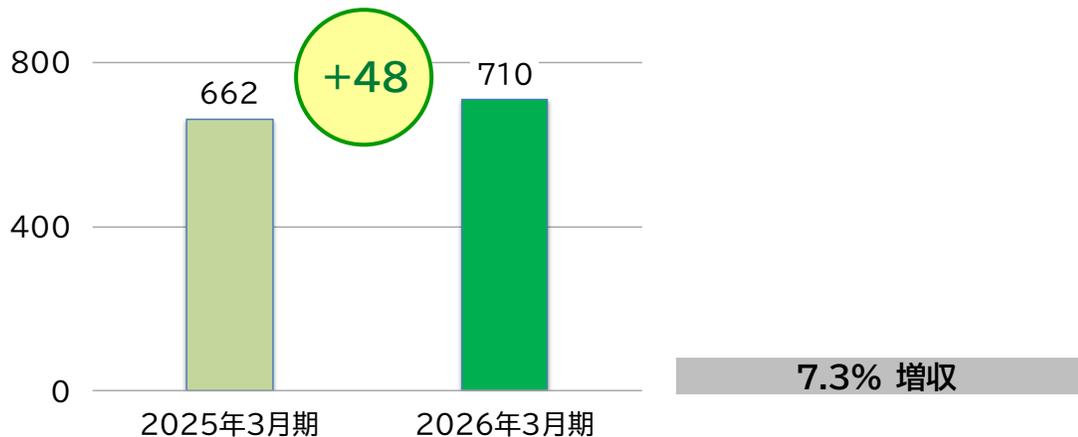
※1:資材単価差含む

※2:在庫評価差、低価法影響含む

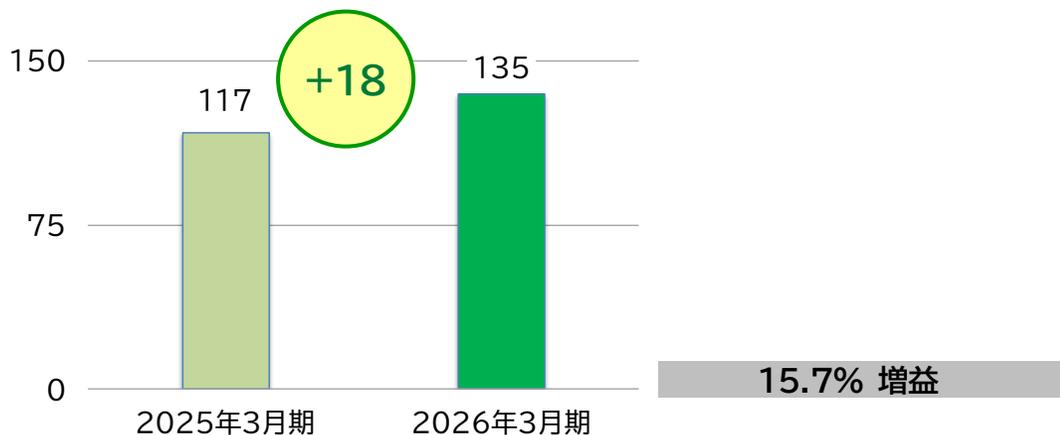
差異分析 機能品

(単位:億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高:増収

- ・ ポリイミド :フィルム用途等を中心に販売が拡大
- ・ 分離膜 :バイオメタン製造向け脱炭酸膜を中心に販売が増加
- ・ セパレータ :ハイブリッド自動車向けを中心に販売が拡大

営業利益:増益

- ・ セパレータ等の販売が増加

営業利益差異

価格差 ※1 △ 9

数量差 46

固定費ほか ※2 △ 19

計 18

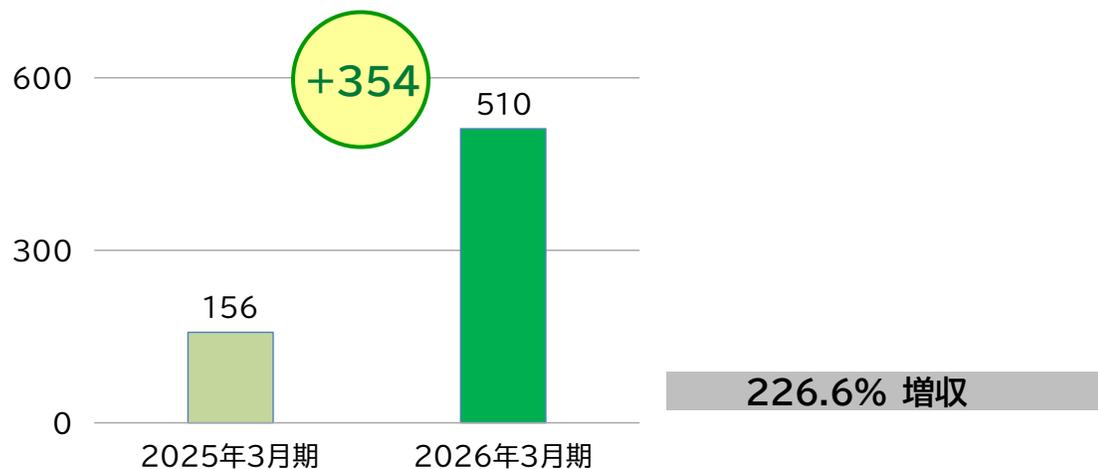
※1:資材単価差含む

※2:在庫評価差、低価法影響含む

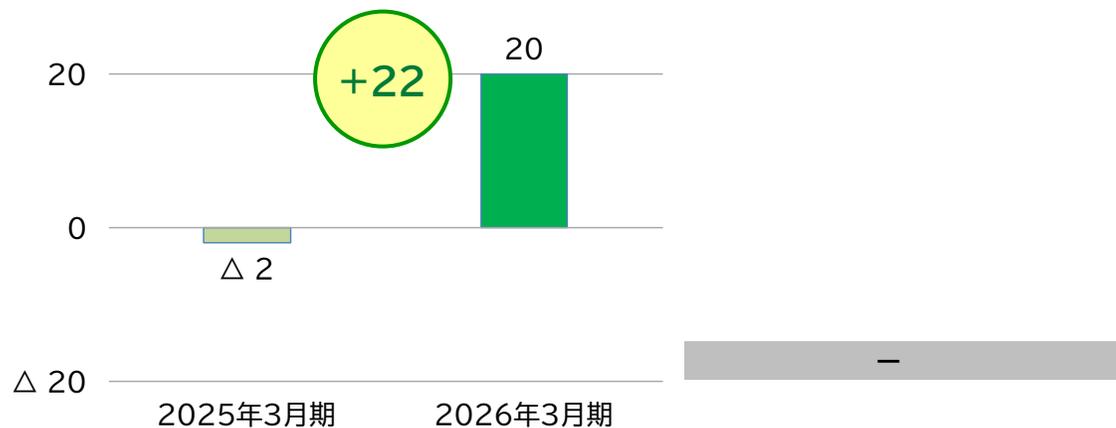
差異分析 高機能ウレタン

(単位:億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高:増収

- ウレタンシステムズ :2025年4月にウレタンシステムズ事業を取得*
- 高機能コーティング :販売が堅調に推移

営業利益:増益

- 2025年4月にウレタンシステムズ事業を取得*したこと及び前期にあった同事業の取得費用がなくなったこと

*ウレタンシステムズ事業は12月決算のため、26年3月期は9ヶ月分の売上高・営業利益となる

営業利益差異

価格差 ※1	△ 12
数量差	9
固定費ほか ※2	26
計	22

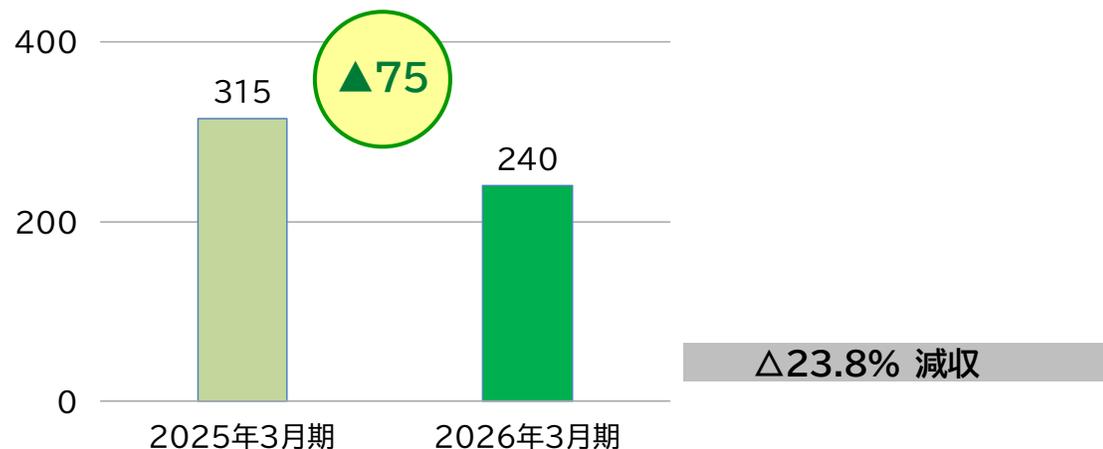
※1:資材単価差含む

※2:在庫評価差、低価法影響含む

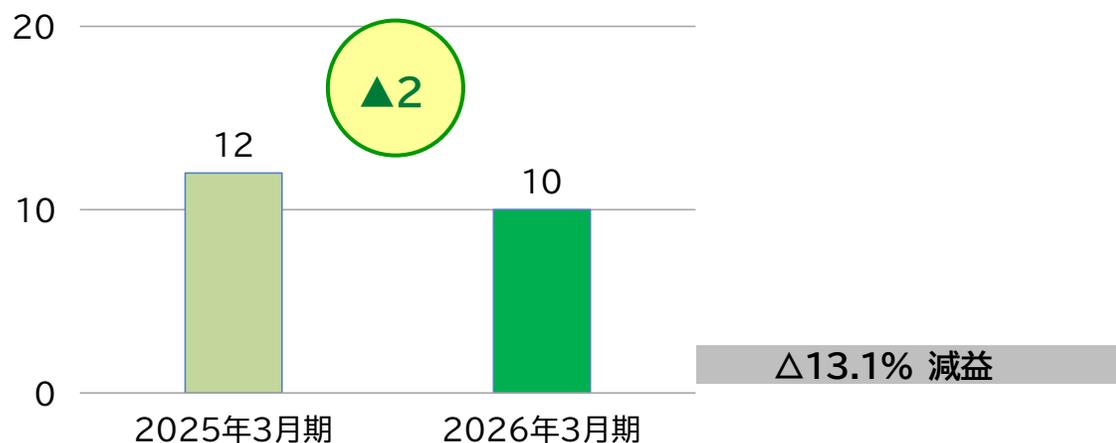
差異分析 医薬

(単位:億円)

売上高



営業利益



定性情報

- 売上高:減収**
- 医薬 :受託医薬品の販売量が減少
- 営業利益:減益**
- 受託医薬品の販売量が減少

営業利益差異

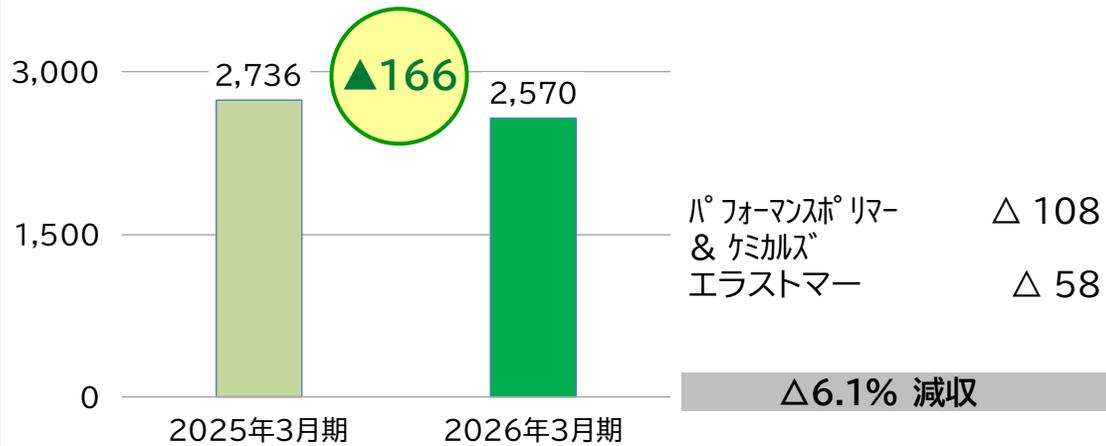
価格差 ※1	3
数量差	△ 13
固定費ほか ※2	9
計	△ 2

※1:資材単価差含む
 ※2:在庫評価差、低価法影響含む

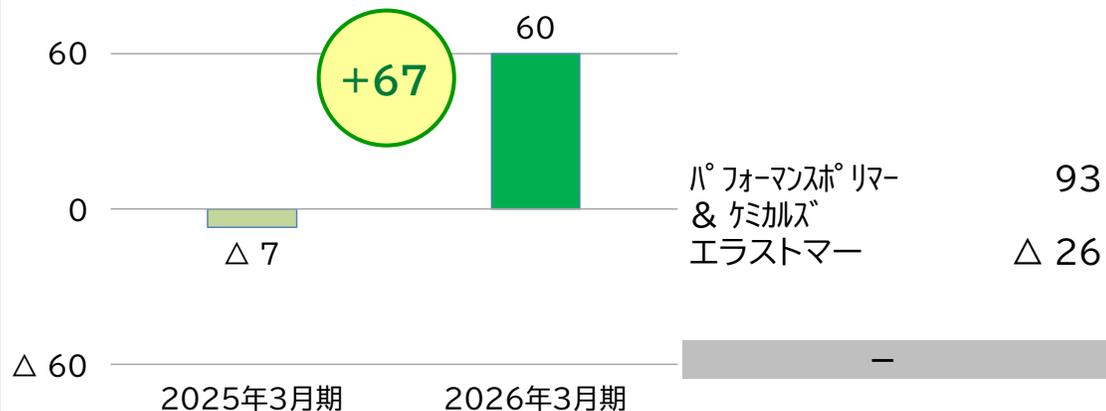
差異分析 樹脂・化成品

(単位:億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高:減収

- ラクタム・硫安 :原料価格下落による販売価格下落
- エラストマー :販売価格が下落

営業利益:増益

- 販売が回復
- アンモニア、カプロラクタム、ナイロンポリマーの減損損失を前期に計上したことによる減価償却費の減少
- アンモニア工場が非定期修理年であるため、補修費が減少

営業利益差異

価格差 ※1	31
数量差	39
固定費ほか ※2	△3
計	67

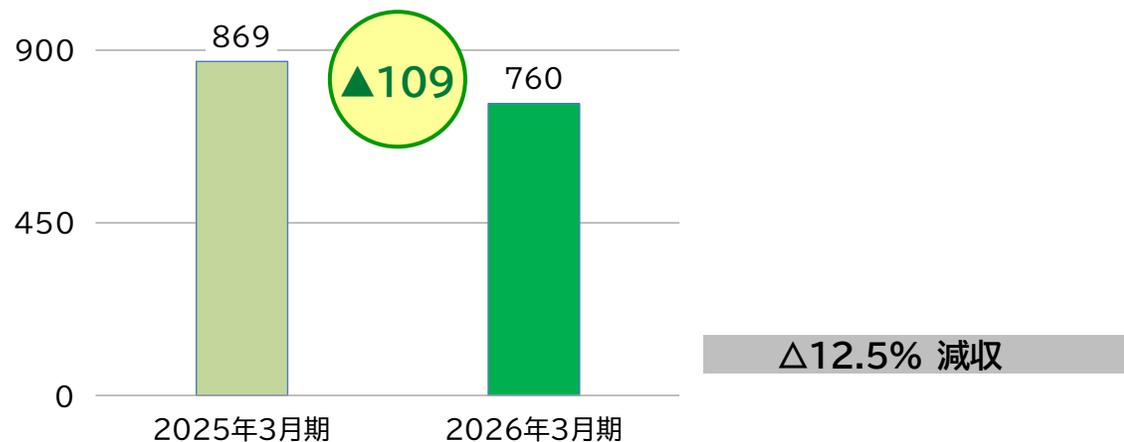
※1:資材単価差含む

※2:在庫評価差、低価法影響含む

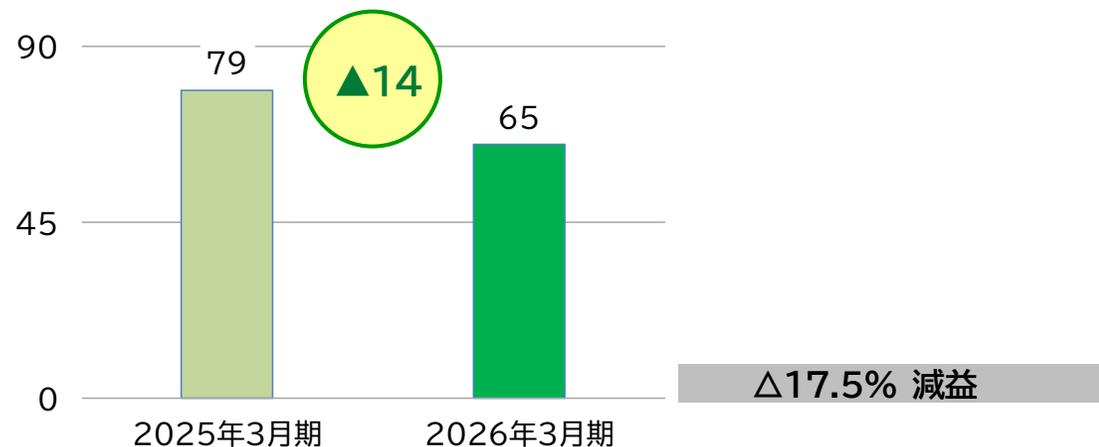
差異分析 機械

(単位:億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高:減収

- 2024年11月に製鋼事業の経営権を譲渡

営業利益:減益

- 成形機、産機で採算性が悪化

営業利益差異

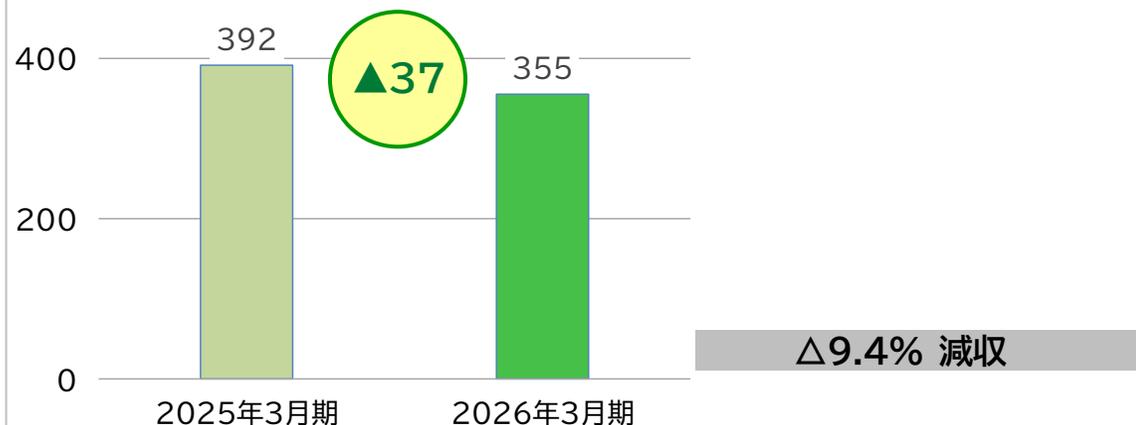
機械部門限界利益 △16

(機械製品は個別受注生産品のため、価格差・数量差の差異分析を行っていない)

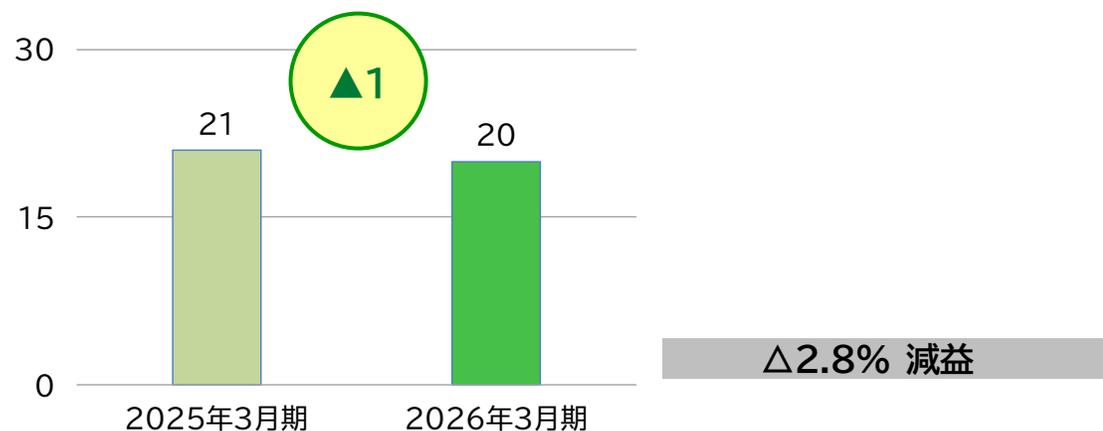
差異分析 その他

(単位:億円)

売上高



営業利益



定性情報

売上高:減収

- 販売会社 : 海外販社の販売数量が減少

営業利益:減益

- 海外販社の販売数量が減少

営業利益差異

価格差 ※1 0

数量差 1

固定費ほか ※2 △ 1

計 △ 1

※1:資材単価差含む

※2:在庫評価差、低価法影響含む

営業利益～当期純利益

(単位:億円)

項目	2025年3月期 (A)	2026年3月期 (B)	差異 (B) - (A)
営業利益	180	250	70
営業外損益	43	125	82
うちUBE三菱セメントグループに係る持分法投資損益	156	155	△ 1
経常利益	224	375	151
特別損益	△ 333	△ 20	313
税金等調整前当期純利益	△ 109	355	464
法人税等・非支配株主利益	61	△ 80	△ 141
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 48	275	323
1株当たり当期純利益	△ 49.60円	283.15円	332.75円

參考資料

売上高 四半期業績推移

(単位:億円)

セグメント	2025年3月期				累計
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
機能品	151	166	158	187	662
樹脂・化成品	709	733	697	734	2,872
機械	192	239	194	245	869
その他	157	193	170	157	678
調整額	△ 55	△ 54	△ 54	△ 50	△ 212
計	1,154	1,277	1,166	1,272	4,868

営業利益 四半期業績推移

(単位:億円)

セグメント	2025年3月期				累計
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
機能品	22	28	21	46	117
樹脂・化成品	1	△ 15	9	24	19
機械	10	20	19	30	79
その他	3	14	8	7	32
調整額	△ 7	△ 15	△ 22	△ 22	△ 66
計	29	31	35	85	180

売上高 四半期比較

(単位:億円)

セグメント	2025年3月期 第3四半期 (A)	2025年3月期 第4四半期 (B)	差異 (B) - (A)	差異要因
機能品	158	187	29	
樹脂・化成品	697	734	36	パフォーマンスポリマー&ケミカルズ 50 エラストマー Δ 14
機械	194	245	51	
その他	170	157	Δ 13	医薬 Δ 22 電力 0 他
調整額	Δ 54	Δ 50	3	
計	1,166	1,272	106	

営業利益 四半期比較

(単位:億円)

セグメント	2025年3月期 第3四半期 (A)	2025年3月期 第4四半期 (B)	差異 (B) - (A)	差異要因
機能品	21	46	25	
樹脂・化成品	9	24	15	パフォーマンスポリマー&ケミカルズ 25 エラストマー Δ 10
機械	19	30	10	
その他	8	7	Δ 1	医薬 Δ 0 電力 0 他
調整額	Δ 22	Δ 22	0	
計	35	85	50	

ポートフォリオ別 売上高/営業利益

(単位:億円)

	ポートフォリオ	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績
	売上高	スペシャリティ事業	1,529
ベーシック事業		2,010	2,251
機械事業		969	869
その他(調整額を含む)		174	201
計		4,682	4,868
営業利益	スペシャリティ事業	186	163
	ベーシック事業	1	△ 1
	機械事業	72	79
	その他(調整額を含む)	△ 34	△ 60
	計	225	180

UBE三菱セメント

■UBE三菱セメント社 連結損益計算書

(単位:億円)

項目		2024年3月期 実績	2025年3月期 実績 *1	2026年3月期 予想
売上高	国内事業	4,072	3,770 (3,795)	3,800
	海外事業	1,781	1,840 (1,825)	1,900
計		5,853	5,610 (5,620)	5,700
営業利益	国内事業	150	176 (175)	220
	海外事業	307	332 (305)	300
計		457	508 (480)	520
経常利益		477	528 (480)	520
親会社株主に帰属する 当期純利益		246	303 (260)	280

■UBE(株) 持分法投資損益

持分法による投資損益	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績 *1	2026年3月期 予想
	130	156	155

■UBE三菱セメント社 定量情報

項目		2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想
セメント(国内)総需要	(万t)	3,458	3,265 (3,300)	3,200
セメント(国内)販売数量	(万t)	820	775 (790)	775
セメント(米国)販売数量	(万st)	173	161 (160)	170
生コン(米国)販売数量	(万cy)	674	619 (625)	670
一般炭価格(参考指標) *2	(\$/t)	142	130 (141)	150
ドル為替レート	(円/ドル)	145	153 (151)	145

*1 ()内は2025年2月5日に公表した数値。

*2 上記一般炭価格は参考指標であり、実際の調達価格とは異なる。

(参考)2025年3月期末 連結貸借対照表

(単位:億円)

総資産	8,071	有利子負債	1,773	自己資本	3,703
自己資本比率	45.9%	D/Eレシオ	0.48倍		

- 国内事業: 2024年度は、セメントや石炭、電力の販売数量が減少したものの、セメントや生コン、骨材等の価格是正効果及び熱エネルギー価格低下が寄与し、国内事業全体では対前年で減収増益となった。
2025年度は、2年に1度のIPP大型補修による電力販売減少等はあるものの、セメントの価格是正効果により、増収増益を見込む。
- 海外事業: 2024年度は、米国事業は、セメント、生コンの販売数量は減少したものの、価格是正効果及び為替影響が寄与し、対前年度で増収増益となった。一方、豪州石炭事業は販売価格の下落により、対前年度で減収減益となった。
2025年度は、米国事業は、価格是正や需要回復に伴う販売数量の増加を見込むものの、原材料費や人件費等のコスト上昇の影響により増収減益。豪州事業は、石炭価格下落の影響により減収減益を見込む。

連結主要指標

(単位:億円)

項目	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期 <予想>
設備投資	361	620	860
減価償却費	266	272	270
研究開発費	103	99	125
事業利益	388	270	420
有利子負債残高	2,134	3,305	3,800
自己資本	4,087	3,951	4,100
総資産	7,890	8,657	9,500
D/Eレシオ(倍)	0.52	0.84	0.93
自己資本比率(%)	51.8	45.6	43.2
売上高営業利益率(%)	4.8	3.7	5.1
総資産事業利益率(%)	5.1	3.3	4.6
自己資本当期純利益率(%)	7.5	△ 1.2	6.8
投下資本利益率(%)	4.7	3.0	4.4

主要連結子会社

(単位:億円)

会社名	事業内容	売上高	営業利益 ^{*2}
		2025年3月期	対2024年3月期
UBE CORPORATION EUROPE S.A.U.	コンポジット、ナイロンポリマー、カプロラクタム、硫安、C1ケミカル、高機能コーティング、その他製品の製造・販売	649	↓
UBE Chemicals (Asia) Public Company Limited	コンポジット、ナイロンポリマー、カプロラクタム、硫安の製造・販売	516	→
THAI SYNTHETIC RUBBERS COMPANY LIMITED	ポリブタジエン(合成ゴム)の製造・販売	263	↑
宇部フィルム株式会社	プラスチックフィルム製品の製造・販売	108	↓
宇部エクシモ株式会社	ポリプロピレンの成形品、繊維、FRP製品、電子・情報材料の製造・販売	120	↑
UBEマシナリー株式会社	成形機、産業機械、橋梁等の製造・販売 成形機、産業機械のアフターサービス	555	↑
株式会社宇部スチール ^{*1}	圧延用鋼塊ビレット、鋳鋼品・鋳鉄品の製造・販売	135	↓

*1 2024年11月1日付で他社へ経営権を譲渡 (2025年3月期売上高・営業利益は、2024年4月1日から10月31日までの実績)

*2 ↑ ↓は1億円以上の増減を示す

2026年3月期 セグメント別 上期・下期 内訳

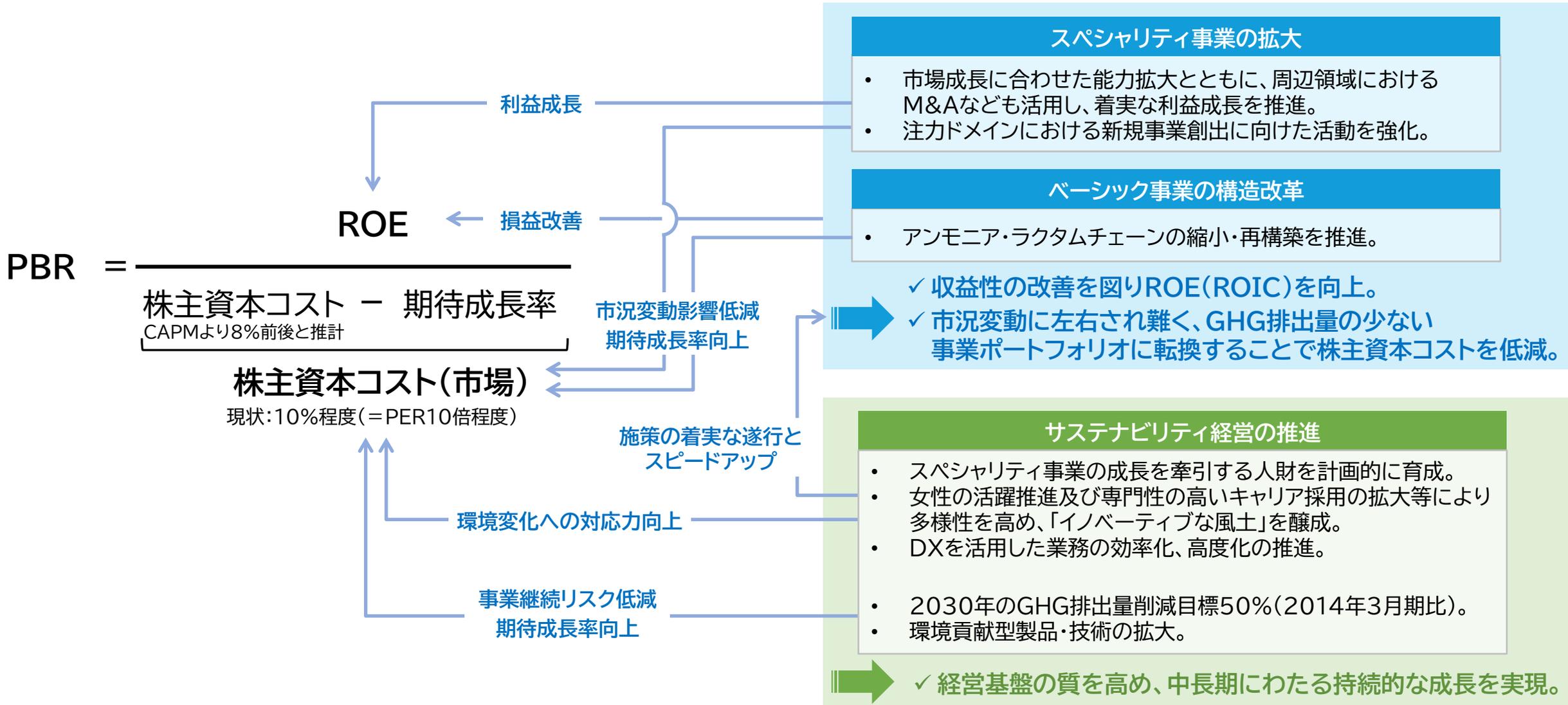
(単位:億円)

セグメント	売上高			営業利益		
	上期	下期	計	上期	下期	計
機能品	335	375	710	55	80	135
高機能ウレタン	200	310	510	10	10	20
医薬	115	125	240	△ 5	15	10
樹脂・化成品	1,230	1,340	2,570	25	35	60
機械	340	420	760	20	45	65
その他	175	180	355	5	15	20
調整額	△ 115	△ 130	△ 245	△ 30	△ 30	△ 60
計	2,280	2,620	4,900	80	170	250

(注) 2026年3月期より、「機能品」「樹脂・化成品」「機械」「その他」の4区分から「機能品」「高機能ウレタン」「医薬」「樹脂・化成品」「機械」「その他」の6区分としています。また、UBE CORPORATION EUROPE S.A.U. の高機能コーティング事業を「樹脂・化成品」から「高機能ウレタン」へ、UBE Fine Chemicals (Asia) Co.,Ltd.を「樹脂・化成品」から「高機能ウレタン」へ、UBE CORPORATION AMERICA INC.の高機能コーティング事業を「樹脂・化成品」から「高機能ウレタン」へセグメント変更しています。2025年3月期実績は、新しいセグメント区分に組み替えた場合の参考値です。

設備投資主要案件

セグメント	件名	場所	完工時期
機能品	ポリイミドフィルム工場 増設	宇部	2025年度
	分離膜工場 増設	宇部 堺	2025年度
	セラミックス(窒化珪素)工場 増設	宇部	2025年度
	セパレータ工場 増設	堺	2026年度
樹脂・化成品	DMC・EMC工場 建設	米国	2026年度
	高純度硝酸 増設	宇部	2026年度



定常的な損益変動要因

時期	セグメント	要因
第1四半期	樹脂・化成品	アンモニア工場(宇部地区)で隔年(偶数年度)に定期修理を実施。 工業薬品事業の営業利益にマイナス影響。
	全社	自家発電設備(宇部地区)で隔年(偶数年度)に定期修理を実施。 全社の営業利益にマイナス影響。
第2四半期後半 ～第3四半期	樹脂・化成品	ナイロン原料カプロラクタムの販売数量が衣料品の秋・冬物需要の影響を受け増加。 カプロラクタム事業の営業利益にプラス影響。
第4四半期	樹脂・化成品	合成ゴム工場(千葉地区)で毎年定期修理を実施。 エラストマー事業の営業利益にマイナス影響。
	機械	売上、利益の計上が集中。 成形機、産機事業の営業利益にプラス影響。

● UBE株式会社

- 2026年3月期 経営概況説明会
 - ・ 2025年5月20日 10:00 ~ 11:30
- 2026年3月期 第1四半期 決算発表
 - ・ 2025年8月5日 15:30
- 2026年3月期 第1四半期 アナリスト・機関投資家向け決算説明会
 - ・ 2025年8月5日 18:00 ~ 18:45

● UBE三菱セメント株式会社

- 2025年3月期 通期 決算説明会
 - ・ 2025年5月29日 16:00 ~ 17:00

UBE Transform Tomorrow Today

本資料における将来の見通しに関する記載は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化によって見通しと大きく異なる場合もありませんことをご承知願います。そのような要因としては、主要市場の経済状況、製品の需給、原燃料価格、金利、為替相場などがあります。但し、業績に影響を及ぼす要因はこれらに限定されるものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属します。本資料のいかなる部分も書面による当社の事前の承諾なく、複製又は転用などを行うことはできません。